

事務事業名	普通財産の管理及び処分事務				担当	総務部 企画課 管財係	
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			電話番号	0285-83-8103	
施策名	4	健全な財政運営			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29年度～）	
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1総務管理費	5財産管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	普通財産について、管理及び、貸付や売却処分を行っている。 （市が所有する財産は行政財産と普通財産に分類される。行政財産は市庁舎、公園、道路というような直接特定の行政目的のために使用されるのものをいい、これに対して行政財産以外のものを普通財産という。）						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 28年度実績 普通財産の管理、処分、貸付地の契約の更新、許可等を行った。 市有財産の有効活用を推進するため、売却が見込める未利用市有地を改めて選定した。  29年度計画 普通財産の管理、処分、貸付地の契約の更新、許可等を行う。 売却が見込める未利用市有地について、測量及び鑑定を実施し、順次売却を推進する。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	貸付契約更新件数	件	7	7	6	3	6
	イ	維持管理費	千円	21,663	12,105	14,110	11,817	14,923
	ウ	処分件数	件	9	6	6	8	8
エ	使用許可件数	件	4	8	5	7	6	
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 普通財産	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	普通財産の土地面積	m2	574,459	507,388	496,953	414,495	414,495
	イ	普通財産の建物面積	m2	6,264	6,264	5,504	5,504	5,504
	ウ							
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 普通財産の適正な管理、処分等により市財政に寄与する。 （土地の貸付面積は決算の数値を参照）	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	土地の貸付面積	m2	205,397	205,397	205,397	205,397	205,397
	イ	土地の売払い金額	千円	74,914	904	1,742	4,589	2,411
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 財政の健全化	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア	財政力指数	-	0.834	0.818	0.822	0.828	
	イ	経常収支比率	%	89.5	86.4	85.2		
	ウ	公債費比率	%	8.2	6.5	7.0		
エ	実質公債費比率	%	7.1	5.9	5.3			
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	21,663	12,105	14,110	11,817
		事業費計(A)	千円	21,663	12,105	14,110	11,817
	人件費	正規職員従事人数	人	3	2	2	2
		延べ業務時間	時間	1,219	1,237	1,233	1,275
		人件費計(B)	千円	4,954	5,221	5,166	5,295
		トータルコスト(A)+(B)	千円	26,617	17,326	19,276	17,112

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	行政財産としての必要性がなくなり、その用途が廃止された財産（普通財産）の管理が必要になった
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成29年3月に策定した公共施設等総合管理計画において、今後40年間で公共施設の総床面積を25.5%縮減する基本目標を設定しており、普通財産の建築物も対象となっている。 普通財産となる物件は引き続き増加傾向にある。未利用市有地については、計画的な売却処分を進めているが、不動産取引は活発とは言えず売却には厳しい状況にある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	用途廃止となった普通財産（土地・建物）について、有効活用及び売却を含めた処分について推進する必要がある。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 普通財産の効率的運用を図ることは、財産の有効利用となる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市有財産である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市有財産である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 売却等処分については、景気や市場に依存している面がある。管理等は必要十分に行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 普通財産の適正な管理に影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 費用対効果のなかで最善の方法を取っている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最低の人員で実施している。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 広く公平に売却処分等している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							